

愛産研 ニュース

愛産研ニュース

平成19年6月6日発行

No.63

編集・発行

愛知県産業技術研究所 企画連携部

〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割

TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

E-mail info@aichi-inst.jp

6月号
2007

今月の内容

トピックス

技術紹介

- ・食物アレルギーの発症機構
 - ・超高分子量ポリエチレン繊維の染色
 - ・電動車いす用救援通報システムの研究開発
 - ・鉄・タングステン合金めっき皮膜の耐食性評価
- 展示会開催結果・お知らせ

〈トピックス〉

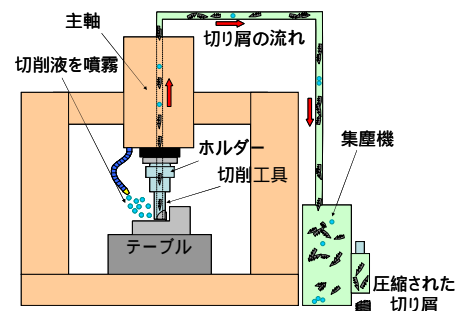
● 750社の新規訪問で利用企業の掘り起こしを図ります

当研究所は、平成19年度の重点取り組み事項として、当研究所の利用拡大を図るため、数値目標を定めた企業訪問を掲げ、新規企業の掘り起こしを図る方針を定めました。新規訪問先は、これまで研究所を利用したことのない県内中小企業などで、当研究所の技術職員150名が1人あたり5社を訪問して、当研究所の技術サービスを紹介し、利用を呼びかけます。新規企業の訪問は、昨年度から重点的に実施しており、訪問をきっかけとして技術相談が持ち込まれ問題が解決した事例や、共同研究の申込みを受けた事例など、具体的な成果が上がっています。

当研究所では、様々な技術サービスを提供しており、企業からの技術相談や依頼試験を随時受け付けています。多くの方々のご利用をお待ちしています。詳しくはHPをご覧ください。

● 切りくずが外に飛び散らない金属切削工具を開発しました

当研究所は、名古屋工業大学及びオーエスジー（株）と共同で、切りくずを工具の内部に吸引しながら切削加工をする新機構の金属切削工具を開発しました。これにより、発生する切りくずの95%以上を回収することが可能となり、加工工程の効率化が図られるのに加え、仕上げ加工に利用すると、切りくずが加工面を傷つけることなく良好な仕上げ面を得ることが期待できます。開発品は新聞にも多く取り上げられるとともに、平成19年4月25日（水）～4月28日（金）に東京で開催された「インターモールド2007」において展示と加工のデモンストレーションを行い、多くの来場者の関心を集めました。



● 複雑で変化に富んだ模様の織物を織る新手法を開発しました

当研究所尾張繊維技術センターでは、中小企業で広く使われているドビー織機のたて糸の上げ下げを行う綜絢という部品を長目綜絢という特殊な部品に取り替えるだけで、複雑な模様を織ることが出来る新技術を開発しました。平成19年6月15日（金）に一宮地場産業ファッションデザインセンターにおいて開催するテキスタイル技術講習会でこの技術内容を紹介します。詳しくはP6の「お知らせ」をご覧ください。



新手法で織った

「グレーシアン織り」と「30枚変化組織」